

東伯総合公園改修・運営事業について

令和3年7月26日 鳥取県琴浦町

- 1 東伯総合公園改修・運営事業の概要(案)
- 2 今後のスケジュール(案)
- 3 事業の背景と目指す姿

事業の概要

老朽化した施設の改修を行うにあたり、民間のノウハウを取り入れ、より魅力あるサービスを展開することで東伯総合公園をスポーツと健康づくりの拠点施設とするため、PFI方式により施設の改修から運営までの業務を一括して実施する。

主な業務の内容

施設改修業務	事前調査、設計 改修工事、工事監理など
維持管理業務	施設・設備の点検や修繕、 植栽剪定、施設の清掃など
運営業務	受付、料金徴収、備品管理、 広報、各種事業運営など

事業期間

改修+改修完了後10年間の管理運営

業務範囲(公園全体)



東伯総合公園の主な施設一覧

施設名称	供用年度	R1年度延利用者	概要
体育館	1984	44.4千人	延床4,838㎡、体育館、武道場、トレーニングルーム
テニスコート	1987	2.5千人	A=2,880㎡、クレー4面
多目的広場	1988	1.6千人	A=8,025㎡、クレー1面
野球場	1990	2.4千人	両翼91m、センター115m
平岩記念会館	1991	1.2千人	延床496㎡ 研修・宿泊施設35～40人収容
サッカー場	1992	5.4千人	A=8,970㎡、天然芝1面
どんぐり広場	2017		遊具広場
	合計	57.5千人	



体育館



テニスコート



多目的広場



どんぐり広場



サッカー場

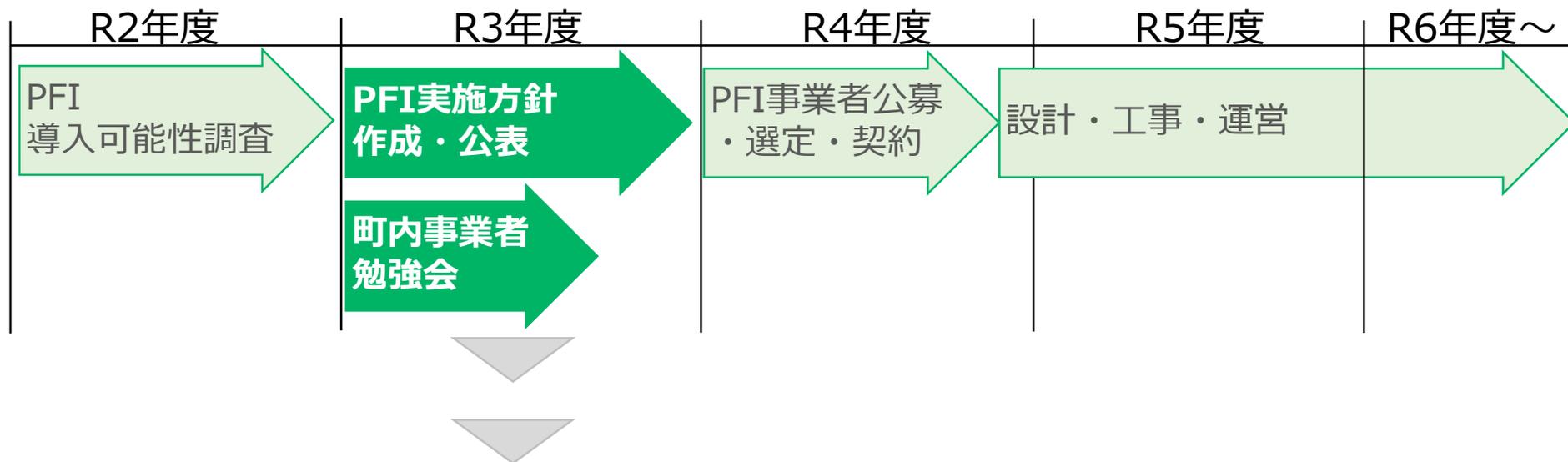


平岩記念会館



野球場

■ R3年度の取組み



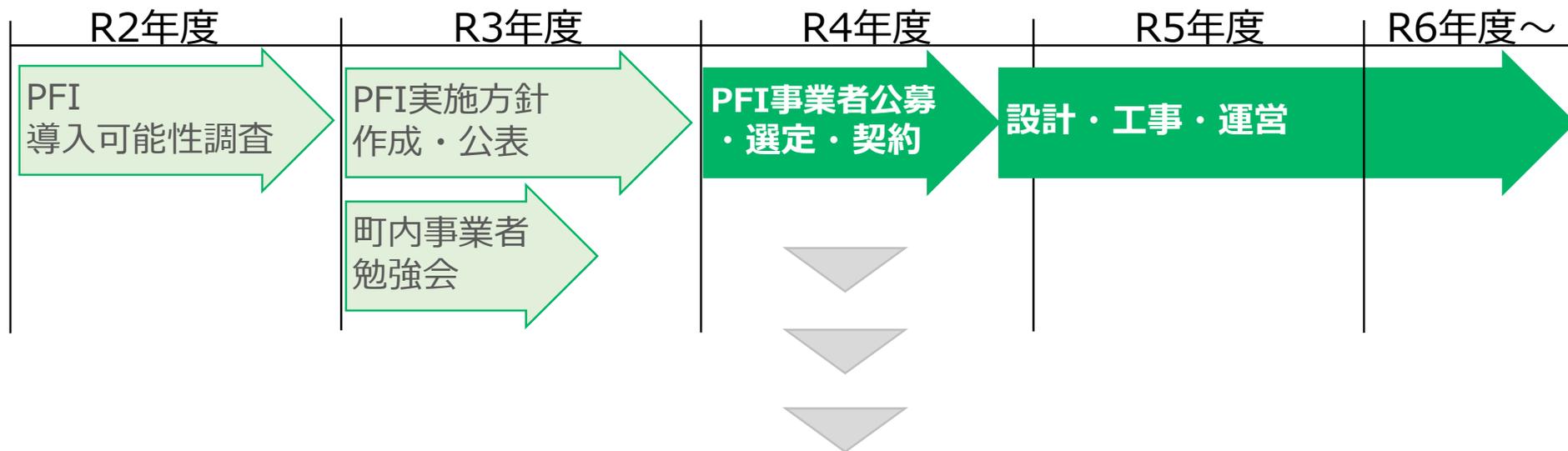
■ PFI実施方針の公表

- 令和3年8月下旬以降に公表
- 公表に合わせて説明会を実施
- 実施方針等への質疑など民間事業者との対話を実施

■ 町内事業者向けPFI勉強会

- 全3回を予定

■ R4年度以降の取組み



■ PFI事業者公募・選定・契約

- 令和4年4月以降にPFI事業者の募集要項等を公表
- 公表に合わせて現地説明会を実施
- PFI事業者は企画提案の内容を総合的に評価し決定
- 令和4年中の契約締結予定

■ 設計・工事・運営

- 契約締結後、改修工事を行い、改修完了後10年間の管理運営を実施

■背景① 公共施設レビューの実施

○2019年3月実施

○無作為抽出した町民評価員より、総合公園の
管理運営・活用の見直しなど改善が必要という意見をいただく



■背景② 施設の老朽化

○供用から30年以上が経過

○特に体育館は、アリーナ・武道館の床、屋根、外壁など大規模修繕が必要

■対応 施設の改修・運営に民間活力(PFI)の活用を検討

○従来どおり行政が改修・運営を行うのではなく、民間のノウハウを取り入れることで、町の財政負担の軽減を図るとともに、より魅力あるサービスを提供する

スポーツを通じた健康寿命日本一を目指すまちづくりの推進

▶現在の取組み① 東伯総合公園の運動支援中核拠点化

施設や活動を充実させ、幅広い年齢層の町民の健康づくり活動・コミュニティの拠点とする



施設の充実

近年は、トレーニングルームの充実、遊具・健康器具を整備し、幼児から高齢者まで気軽に運動できる環境を整備

活動の充実

朝さんぽ、外遊び、体幹トレーニング教室、その他の各種教室や事業を実施

▶現在の取組み② 各種スポーツ団体によるスポーツ・健康づくり事業

スポーツ団体を支援し、生涯スポーツから競技スポーツまで多様なスポーツ活動の場を身近につくる



体育協会



スポーツ少年団



スポーツ推進委員